

みらい通信

第21号

発行元 NPO法人紫波みらい研究所
連絡先 〒028-3318
岩手県紫波郡紫波町紫波中央駅前1-2-2
電話 019-671-2244
FAX 019-671-2243
Email miraiken@shiwa-mirai.com
URL <http://www.shiwa-mirai.com>
発行日 平成19年9月12日

間伐しました！石ヶ森里山プロジェクト第2弾

日程：平成19年8月3日～4日

場所：紫波町彦部石ヶ森 参加者：114人

昨年に引き続き、国学院大学生と地元紫波町彦部地区の皆さんが協力して石ヶ森の里山づくりを行いました。

国学院大学、岩手大学生、地元のお手伝いの方、みらい研究所のスタッフを含め、なんと100人を越える参加者がありました。

一日目は猛暑、二日目に雨というコンディションの中、怪我もなく、無事終了することが出来ました。



結束力」が大事ではないかと思います。その存在を知り、自らの問題として捉えられるようになった私は幸せです。

間伐らしい間伐を、まさにしたぞ！という感じの作業が出来たように思います。初日はすごく暑くて、また、あまり

道具に慣れてないのに結構大きい木を切ることにチャレンジしてしまい、悪戦苦闘しました。でも少しずつ



枝打ちの作業

小枝の処理をしたりするうちに慣れてきて自分の力量や状況判断をしながら切ることが出来るようになってよかったです。また、どうしようか考えているとマメに担当の加藤さんが声をかけてくれ、本当に楽しく無理をせずに作業が出来て嬉しかったです。

2日目はあいにくの雨でしたが、それでも森の中はそんなに雨が直撃することも無く、不思議な空間で、「雨の山」という体験が出来て非常に良かったと思います。特に怪我もなく非常に有意義な体験になったと思います。

今回、私はOGとして参加させていただきました。初めてお世話になったのは昨年。そのときの感動と自分の中で起こった熱い想いを再確認したく、参加を希望したのです。



手づくりおにぎりで昼食

3日目の間伐はあいにくの雨でした。残念...と

国学院大学生の感想（抜粋）

かなりの重労働でしたが、1つ1つの作業をこなしたあとの達成感が格別でした。また、初めてだっ



間伐材を運ぶ

たのですが、経験者の人々が言っていた「森に光が射す」感覚を肌で感じ、さすが良かったです。木を切ると言う作業をする中で、枯れる木等の様々な生態系に触れ、森や林の見方も変わりました。しかしこれらを守っていくのは何より「人の

思いきや、雨の中必死に活動し、汚れも汗も関係なしに動き続けたことで晴れの日以上にすがすがしい気持ちになれました。また、間伐後と間伐前の森（山）を比べて見るとその違いにはっと息を呑むほどでした。さらに、私にとっては地域の方々この紫波の方々とたくさん話せたことが大きな財産になっています。町を想い、土地を想い、この郷土の未来を思いながら活動していらっしゃるの方々。そんな方々と直接お話ができ、一緒に活動できたことで、また自分の想いを確認することが出来ました。ありがとうございました！

彦部地区感想（抜粋）

- ・「人生のひとこま」何かの役に立てればそれでよい。人生いろいろこれから頑張れ。



間伐材の片付け

- ・地域にとっても大きな出来事であった。このようなことが他の地域でもやられたら素晴らしいことだと思う。ありがとう。
- ・彦部を忘れないで、10年後でも来て山を見て欲しい。
- ・彦部にまた来て欲しい。お嫁にでも来て欲しい。
- ・女性（学生）達とまた会いたい。よい子達であった。
- ・地元としても大学に感謝しています。よい機会を作ってくれたみらい研究所や関係者にも深く感謝します。
- ・8月5日の朝、出発の日でした。涙が出るくらいいつだった。またいつか会える日があるかな。この子達の成長が楽しみだ。
- ・林業作業ありがとうございます。来年も来てね。待っています。
- ・若者の声が樹間にこだまする様は半世紀ぶりに聞いた。活気が山林に響いて大変良かった。
- ・酒飲会良かったです。事故がなく終わってOKだよ。
- ・昨年も来てくれた人に会えて嬉しかった。頼もしく感じのよい学生たちであった。

私は NPO 法人紫波みらい研究所の一員として、社会貢献の一助にと思って、初めて間伐作業に参加しました。



枝打ちのレクチャー

林業作業については特に不安はありませんでしたが、地域住民とのつながり、国学院大学生との共同作業ということで特に期待して参加しました。

作業前の森はうっそうとした、昼間でも薄暗く、いかにも近寄りづらい感じがしました。班編成後、指導員の注意事項等の説明を受け、私も班の中に入り、学生と一緒に作業にかかりました。当初学生の手作業は危なっかしく思われましたが、徐々に体験していくうちに受け口、追口の要領を理解し、伐倒も思った方向に倒れるようになり、手際良くなりました。

休憩時間を利用して、地元代表の石川さんから一部の学生に親鸞聖人の高弟、是信房の墓の由来についての話があり、話の中から私はふっと日頃心掛けている「無賤の七施」のことを思いました。学生たちもはるばる遠地から紫波町まで森林ボランティアに来てくれたことから、この教えを知っているのではと思いました。

作業の合間に清水君からは、森林の荒廃の原因、森林の機能等、熱心な質問があり森林に対する関心があることを強く感じました。夜の懇親会は地元町長も参加され、酒を酌み交わし語り合いました。最後に森がくれた友好を大事に、清水君との再会を約束し、一員として少しでも地球温暖化防止や循環型まちづくりの形成につながったものと思います。



間伐後のきれいな森

参加者募集!

平成の森 共生植林



企画・運営 森と家づくりの会
(紫波町委託事業)

平成19年10月13日 (土)

8:00~14:00

「木の実には熊に、用材は人に」をテーマに、熊がエサを求めて里まで下りてくることなく、実のなる木を植樹し、熊と人との共生ができるように中学生や一般町民を対象として作業体験を行います。また、植林と併せてどんぐりの苗木作りも行います。身近でどんぐりを拾える方はご持参ください。



参加者募集!

平成の森 下草刈り 平成19年9月30日 (日)

10月13日の植林にむけて、平成の森の下草刈りを行います。参加できる方は紫波みらい研究所事務局にご連絡をお願いします。

場 所 山王海ダム 平成の森
集 合 現地集合8時00分
車のない人は7時40分にサンビレッジ紫波に集合し、乗り合わせて行きます。
持 ち 物 草刈機(ある人)、かま、軍手、長靴、昼食

開催場所 山王海ダム 平成の森(町有林)
集 合 サンビレッジ紫波 午前8時
バスで現地まで移動します。
持 ち 物 動きやすい服装、長靴、軍手、雨具、園芸用スコップ、おにぎり、はし、おわん(みそ汁を用意します)、どんぐり
申 込 紫波みらい研究所にご連絡ください。
TEL 019-671-2244
申込締切 10月5日(金)

どんぐりが拾えるところ

- ・城山公園(諏訪平・長坂・天王平・大手先門跡周辺)
- ・古舘駅西側駐輪場
- ・紫波フルーツパーク

どんぐりの保存の仕方

- ・乾燥と虫を防ぐためどんぐりを30時間程度水につける。水に浮くどんぐりは虫に食べられていたり、乾燥しています。
- ・ビニール袋に入れて冷蔵庫に入れる

10月定例会



平成19年10月10日(水)18:30~
コネコネマイせっけんセミナー

コネコネマイせっけん作りのセミナーを行います。純石けん、食用廃油を使ったやわらかい石けんです。ぜひ皆さんお越しください。なお、参加費としてせっけんの実費分をいただきます。



他団体活動紹介

紫波町再発見ツアー 坂上田村麻呂伝説を訪ねて

主催：紫波町観光ボランティアガイドしゃ・ペーる

平安時代、征夷大將軍として活躍した名将坂上田村麻呂は紫波町に数々の神社を勧請しました。また、紫波町が誕生の地であるという伝説も残っています。皆様でその軌跡を辿ってみましょう。

日 時 10月13日(土)
集 合 紫波中央駅 8時40分
参加費 3,500円
募集人数 先着40人
申 込 しゃ・ペーる代表 久慈和子
電話 019-672-2718
FAX 019-672-4555

申込締切 9月26日(水)

コース

紫波中央駅 岩谷観世音 赤沢資料館 薬師堂 正音寺 赤沢産直 坂上田村麻呂誕生伝説の地 八坂神社 平井邸(昼食・見学) 志賀理和気神社 新山神社 陣ヶ岡蜂神社 紫波中央駅

オープンガーデン いわてのご案内



オープンガーデンいわてではガーデニングを楽しみながら社会貢献もできる本場英国のオープンガーデンと同様に、お庭主の皆様にはチャリティーのためにという趣旨に賛同していただき、公開していただくことをお願いしております。

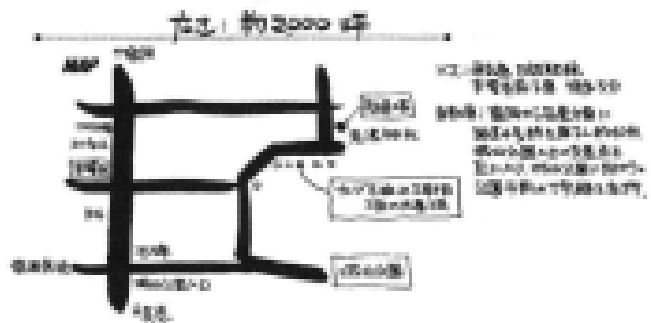
紫波町在住の小川勝弘さん宅でも「ガーデニングと農園のコラボレーション」ということでお庭を公開しています。広さ2,000坪のお庭をゆったりと散策してみませんか。

公開日 9月22日(土) 13:00~15:00

9月23日(日) 10:00~15:00

入 場 無料

連絡先 小川勝弘さん 紫波町二日町字向山152
TEL&FAX019-676-2274



中越沖地震 募金絵はがき

ゆいっとサロンを初めとする町内6団体で、新潟県中越沖地震の被災支援の活動を展開中です。復興の様子を絵はがきにし、そのはがきから支援の気持ちをつなげるリレー形式の販売です。売上の一部が被災地復興に取り組む新潟県のNPO法人に贈られます。

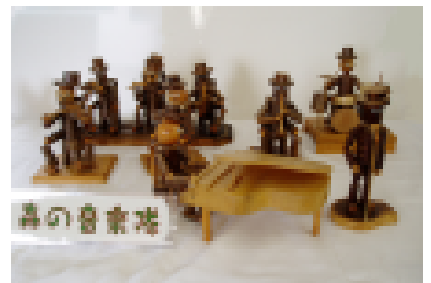


葉書3枚一組500円

森の音楽隊

レクリエーション協会の近藤好男さんが、手作りの木製(桜)の人形で音楽隊を作りました。一つひとつが細かく丁寧に作られていて、とても可愛らしい人形です。

紫波みらい研究所に展示していますので、ぜひ見に行ってください!



編集後記

暦の上では秋になりましたが、まだまだ暑い日が続きますね。そろそろひまわりもアサガオも種の収穫時期なのかな?と思っています。来年また咲かせるために大事にとっておきたいですね!

前号(8月8日発行)のみらい通信の号数に誤りがありました。「19号」となっておりますが、正しくは「20号」です。お詫びして訂正いたします。

会員数

個人会員 91人

団体会員 4団体

賛助会員 4団体